

江別市 予算案

令和3年度



基本方針

令和3年度は、「えべつ未来づくりビジョン」の後期5年間の3年次目となります。
「えべつ未来づくりビジョン」に掲げた「4つのまちづくりの基本理念」と、基本理念の根幹となる「協働のまちづくり」の考え方を踏まえてまちづくりを進めます。

基本理念

安心して暮らせるまち

活力のあるまち

協働のまちづくり

子育て応援のまち

環境にやさしいまち

予算編成のポイント

令和3年度当初予算は、この基本理念に基づいてまちづくりを進める「まちづくり政策」を推進するため、重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」を政策の中核に据えて取組を推進します。

また、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立のため、「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を効果的に進めていきます。

さらに、新型コロナウイルス感染症対策については、国の15か月予算の考え方に沿って、別途編成する補正予算により対応し、新年度予算と一体的に進めていきます。

安心して暮らせるまち

- ・生涯活躍のまち整備事業
- ・重度心身障がい者等交通費助成事業
- ・高齢者保健・介護予防一体的実施推進事業
- ・健康づくり推進事業
- ・新栄団地建替事業
- ・庁舎等耐震化検討経費
- ・除排雪事業

活力のあるまち

- ・旧岡田倉庫活用事業
- ・北海道林木育種場旧庁舎保存利活用推進事業
- ・あけぼのパークゴルフ場改修整備事業
- ・オリンピック・パラリンピック推進事業
- ・はやぶさ運動広場移転事業
- ・大学生等地域関係促進事業
- ・総合特区推進事業

子育て応援のまち

- ・待機児童解消対策事業
- ・子育て世代包括支援事業
- ・民間社会福祉施設整備費補助事業
- ・GIGAスクール構想推進事業
- ・放課後児童クラブ運営費補助金
- ・一時預かり事業
- ・子ども医療費助成事業

環境にやさしいまち

- ・環境クリーンセンター基幹的設備改良事業
- ・最終処分場整備事業
- ・ごみ収集運搬業務委託
- ・ごみ処理手数料等管理経費
- ・環境教育等推進事業
- ・野生鳥獣等保護管理事業
- ・自治会防犯灯設置費補助金（LED化）

予算規模（各会計予算額）

（単位：千円）

	令和2年度	令和3年度	増減	率
一般会計	45,010,000	47,140,000	2,130,000	4.7%
特別会計	24,488,000	25,294,000	806,000	3.3%
企業会計	16,933,762	17,142,568	208,806	1.2%
全会計	86,431,762	89,576,568	3,144,806	3.6%

一般会計は471億4千万円で、前年度から21億3千万円（4.7%）増加しました。

これは、福祉・医療などの社会保障費の増加などによるものです。

全会計合計では、895億7,656万8千円となり、前年度から31億4,480万6千円（3.6%）増加しました。

だれもが健康的に安心して暮らせるえべつをめざします

新規 高齢者保健・介護予防
一体的実施推進事業 5,247千円

高齢者の医療・介護・保健データの一体的な分析により、健康課題の把握を行い、個別支援と通いの場等を活用した健康教育を通し、保健事業と介護予防を一体的に実施することで健康寿命の延伸を図ります。

- ◆ 通いの場等への専門職派遣による健康教育・健康相談、フレイルチェック、重症化予防



野菜摂取の推進

健康づくり推進事業 4,584千円

第2次えべつ市民健康づくりプラン21に基づき、生活習慣病の予防や、こころの健康づくり等の取組を行い、地域の健康づくり活動を推進します。

- ◆ 自殺予防のための相談先一覧カードによる普及啓発
- ◆ 自殺予防ゲートキーパー養成研修
- ◆ 健康づくり推進員の活動支援

健康都市推進事業 2,037千円

全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるように、「健康都市宣言」に基づき、健康意識向上のための取組を推進します。

- ◆ 生活習慣病予防に向けた野菜摂取の推進
- ◆ 健康チェック等体験型イベントの実施

健康教育事業 958千円

生活習慣病の予防や健康保持増進のため、食生活の改善や運動習慣の定着など健康づくりを推進します。

- ◆ 健康づくりサポーター養成講座の実施
- ◆ 喫煙予防教室の実施（小学生）
- ◆ 生活習慣病予防教室の実施（中学生）

成人検診推進事業 84,400千円

がんの早期発見、早期治療による重症化の予防のため、がん検診の受診勧奨を行います。

- ◆ **新規** 胃がん内視鏡検診の実施
- ◆ 集団検診事務の一括委託化（受付業務、電話受診勧奨、WEB予約運用）

(参考) 特定健康診査等事業
(国民健康保険特別会計) 69,870千円

国民健康保険被保険者に対する特定健康診査や特定保健指導を実施します。また、特定健康診査受診率や特定保健指導利用率向上のための取組を推進します。

- ◆ 北海道国保連合会の共同事業を活用した受診勧奨パンフレットの送付
- ◆ けんしん受付ダイヤルと連携した電話勧奨
- ◆ 保健師による低受診率地区への訪問・電話勧奨



特定保健指導



リハビリテーション職による介護予防体操指導

(参考) 一般介護予防事業（「通いの場」を活用した介護予防・健康づくり）
(介護保険特別会計) 6,083千円

社会に参加しつつ、地域で自立した日常生活を営めるように、介護予防の普及啓発に取り組みます。

- ◆ **拡大** コロナ禍によるフレイル（虚弱状態）予防対策の実施
- ◆ **拡大** 口腔機能向上対策の実施
- ◆ 住民主体の「通いの場」支援
- ◆ 介護予防教室、出前講話等の実施
- ◆ リハビリテーション職による地域活動支援

重度心身障がい者等
交通費助成事業 18,091 千円

重度心身障がい者（児）の生活圏拡大及び社会参加の促進を図るため、交通費の一部を助成します。

- ◆ **新規** 自動車燃料費助成券を交付し、燃料費を助成（年間最大交付枚数 12枚）
 - ◆ タクシー利用券を交付し、初乗り運賃分を助成（年間最大交付枚数 24枚）
- ※上記の選択制を導入します

介護サービス提供基盤等
整備事業 38,634 千円

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、介護保険サービスの基盤整備を推進します。

- ◆ 地域密着型サービスの整備

介護人材養成支援事業 13,029 千円

市と市内の介護事業者が連携を図り、入門的研修による新規人材の発掘や介護事業所での実習などの就労支援の実施により、介護人材の確保と市内の介護事業所への定着を図ります。

- ◆ 介護に関する入門的研修の実施
- ◆ 介護職員初任者研修の受講による資格取得及び市内の介護事業所での職場実習

市民後見推進事業 8,603 千円

成年後見制度の普及や市民後見人の活動体制を整備するため、相談機関の運営や人材育成に取り組みます。

- ◆ **新規** 成年後見制度利用促進基本計画の策定
- ◆ 成年後見支援センターの運営
- ◆ 市民後見人フォローアップ研修

障害者就労相談支援事業 9,970 千円

障がい者の就労に関する相談、企業の障がい者雇用に関する相談窓口の設置など、障がい者の社会的自立を促進します。

- ◆ 障がい者や企業からの総合的な就労・雇用相談、障害福祉サービスとのマッチング
- ◆ 就労者への職場巡回、来所相談等による定着支援

障害者社会参加支援事業 5,501 千円

専任手話通訳者の配置や手話通訳者・要約筆記者の派遣、点字・音声による広報えべつ等の発行など、障がい者の自立や社会参加を促進します。

- ◆ 手話通訳者・要約筆記者の派遣
- ◆ 「点字広報」、「声の広報」の発行
- ◆ タブレットによる「遠隔手話サービス」の提供

その他主要事業（政策03）

■ 社会福祉協議会補助金	100,180千円
■ 夜間急病センター運営経費	150,148千円
■ 高齢者予防接種経費	62,604千円
■ 障害者自立支援給付費	3,375,887千円
■ 障害者自立支援給付費（児童）	961,981千円
■ 自立支援医療給付費	198,750千円
■ 重度心身障害者医療費助成事業	206,600千円
■ 生活困窮者自立支援事業	34,798千円

■ 年末見舞金支給事業	11,908千円
■ 福祉除雪サービス事業	22,533千円
■ 後期高齢者健診推進事業	13,557千円
■ 生活保護費	2,629,000千円
■ 国民健康保険会計繰出金	1,039,190千円
■ 病院事業会計繰出金	1,513,632千円
■ 介護保険会計繰出金	1,619,023千円
■ 後期高齢者医療会計繰出金	438,317千円

未来のえびつを支える元気で情操豊かな子どもたちの育成をめざします

子ども医療費助成事業

187,000 千円

子どもの医療費の一部を助成することで保護者の負担軽減を図ります。

- ◆ 0歳～小学3年生の通院医療費助成
- ◆ 中学生以下の入院医療費助成



民間社会福祉施設整備費

補助事業 611,256 千円

民間事業者が行う保育施設の整備に対し補助を行うことで、快適な保育環境の整備や待機児童の解消を促進します。

- ◆ 保育所等における事故防止推進事業補助
- ◆ 民間保育施設の整備に対する補助
- ◆ 民間保育施設の建設費償還金補助

一時預かり事業

91,243 千円

一時的に家庭での保育が困難となった子どもや、幼稚園等の教育時間前後の預かりが必要な子どもの保育に対応します。

- ◆ **拡大** 一時預かり事業実施施設に対する補助の拡大
※特別支援児童加算・保育体制充実加算の追加

子育て世代包括支援事業

10,044 千円

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うことで子どもを産み育てやすい環境を整え、子育てや乳幼児の健全な育成を支援します。

- ◆ 妊婦面接・支援プランの作成
- ◆ 産後ケア事業
- ◆ 巡回型親子健康相談

待機児童解消対策事業

22,754 千円

待機児童の解消に向け、受け皿となる教育・保育施設等に対し、保育従事者の養成や保育士等の人材確保のための助成を行います。

- ◆ 保育従事者の養成
- ◆ 保育士等奨学金返還支援事業
- ◆ 保育士等アパート借上支援事業



教育・保育施設等給付事業

3,183,563 千円

民間法人等が運営する教育・保育施設等に対し、国が定める公定価格に基づく給付費を支給するほか、認可外保育施設等の無償化にかかる施設等利用費を支給します。

- ◆ 教育・保育施設等への給付費支給
- ◆ 国の制度に基づく幼児教育・保育の無償化

病児・病後児保育事業

32,055 千円

病児・病後児保育を実施している事業者に対し、運営費の一部を補助します。

- ◆ 病児・病後児保育実施事業者への補助
- ◆ 感染症流行情報等の発信、保育施設の巡回・情報共有に対する補助

保育料の独自軽減

「えびつ・安心子育てプラン（江別市子ども・子育て支援事業計画）」に基づき、子育て家庭への経済的負担を考慮し、引き続き0～2歳児の保育料の軽減を図ります。

- ◆ 市の独自軽減率25.82%



やよい保育園 もちつき

放課後児童クラブ
運営費補助金 147,833 千円

民間放課後児童クラブに対し、設置・運営に係る費用の一部を助成し、市内における放課後児童健全育成の充実に努めます。

- ◆ 民間放課後児童クラブへの運営費補助
- ◆ 新設民間放課後児童クラブへの施設整備等補助
- ◆ **拡大** 待機児童の発生が見込まれる小学校区等に新規クラブを開設(18クラブ→21クラブ)



児童センターでの活動

放課後児童クラブ運営事業 16,404 千円

公設放課後児童クラブの運営を民間事業者に委託し、放課後に親子共々安心できる「生活の場」を提供します。

- ◆ 江別第一小学校放課後児童クラブの運営委託

児童館地域交流推進事業 66,190 千円

市内7か所の児童センターにおいて、地域との交流を通して、遊び・行事・イベントなどの活動を実施します。また、併設された2か所の公設放課後児童クラブを運営します。

- ◆ 児童センター（7館）の運営
- ◆ 放課後児童クラブ（2クラブ）の運営



放課後児童クラブ
待機児童対策事業 4,180 千円

放課後児童クラブにおける待機児童対策として、児童センターにおいて受け入れる体制を整備し、子育てと就労の両立を支援します。

- ◆ 待機児童のランドセル来館による受け入れ
- ◆ 児童が放課後等に安全に過ごすことができる場の提供

あそびのひろば事業 2,951 千円

地域の子ども遊びの場として、また、子育てに関する情報交換や交流の場として、民生委員・児童委員や子育てサポーター協力のもと、あそびのひろばを開催します。

- ◆ 地域あそびのひろばの開催



あそびのひろば

親子安心育成支援事業
(子育てひろば事業) 28,838 千円

商業施設内に開設した子育てひろば『ぼこあぼこ』を運営します。季節や天候を問わない全天候型で、大型遊具やクライミングウォールなどを備え、子どもが自由に遊べる空間を提供します。

- ◆ 子育てひろば『ぼこあぼこ』の運営
- ◆ 子育て講習会等の開催
- ◆ 子育て支援コーディネーターによる子育て相談
- ◆ 託児ルームの併設

その他主要事業（政策06）

■ 保育園運営経費	127,084千円
■ 児童扶養手当	451,237千円
■ 児童手当	1,579,595千円
■ ひとり親家庭等医療費助成事業	38,300千円
■ 子ども家庭総合支援拠点運営経費	7,087千円
■ 障害児通所支援事業運営費	22,920千円
■ 予防接種経費	216,528千円

■ 妊産婦健康診査経費	53,654千円
■ 私立幼稚園補助金（運営費補助金）	4,186千円
■ 特別支援教育推進事業	38,487千円
■ 特別支援学級生活介助事業	55,532千円
■ 学校給食事業	268,868千円
■ 小・中学校教育扶助費	180,900千円
■ 小・中学校教育扶助費（特別支援教育）	8,903千円

特別会計

25,294,000千円 (前年比+806,000千円、+3.3%)

国民健康保険特別会計

12,280,000 千円

国民健康保険の被保険者に対して、疾病、負傷、出産又は死亡に関する保険給付や健康の保持増進に向けた事業を実施します。

- ◆ 北海道国民健康保険運営方針に基づき、北海道と一体となって国民健康保険の適正な運営に努めます。
- ◆ 資格管理や保険給付の適切な実施とともに、医療費の適正化に取り組みます。
- ◆ 特定健診の受診促進や保健事業を推進します。

後期高齢者医療特別会計

1,908,000 千円

主に75歳以上の方が加入する後期高齢者医療保険制度について、被保険者証の交付や保険料の管理、各種申請受付等の事務を行います。

- ◆ 被保険者から収納した保険料を、北海道後期高齢者医療広域連合へ納付します。
- ◆ 所得が少ない方の保険料軽減のため、一般会計から繰り入れを受けます。

介護保険特別会計

10,991,000 千円

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護保険事業の円滑な運営を図ります。

- ◆ 第8期介護保険事業計画（令和3年度からの3か年計画）を推進します。
- ◆ 介護予防の取組や地域包括支援センターの運営のほか、認知症施策などの地域支援事業を実施します。

基本財産基金運用特別会計

115,000 千円

江別市有林処分金をもとにした市の財政に寄与するための基本財産基金について、その運用の経理を明確にするための会計です。

- ◆ 基金で保有している土地の管理経費
- ◆ 市の投資事業等に対する債権運用
- ◆ 土地・現金の運用益の基金への繰出金

公営企業会計

17,142,568千円 (前年比+208,806千円、+1.2%)

水道事業会計

3,897,696 千円

- ◆ 水道事業では、災害に強く安定した給水を行うため、引き続き基幹管路の耐震化と老朽配水管の布設替等による管網整備を行うほか、上江別浄水場の設備更新等を実施します。

下水道事業会計

5,512,399 千円

- ◆ 下水道事業では、安全で快適な生活環境を確保するため、老朽化した下水道管路の改築・更新を行うほか、浄化センター・ポンプ場の設備更新等を実施します。

病院事業会計

7,732,473 千円

- ◆ 病院事業では、新型コロナウイルス感染症に対応するとともに、令和3年3月に策定予定の「江別市立病院経営再建計画」に基づき、診療体制の再構築や経営改善策を着実に実行し、経営再建を目指します。
- ◆ 医療環境の変化に対応しつつ地域密着型の医療を安定的に提供できるよう、担うべき医療を重点化し、地域の医療機関と連携を図ります。
- ◆ 市立病院の医療機能を維持するため、内科系医師の確保を最優先に取り組みとともに、総合病院の強みである診療科間の連携強化を図ります。
- ◆ 病院広報誌や健康セミナーなど、積極的なPR活動を行い、さらなる市民の理解浸透を図ります。
- ◆ 健康都市の実現に向けて、在宅医療の充実に努めます。



江別市水道庁舎



江別市立病院